

「芦田川を守る日」一斉清掃への参加

福山市内を流れる芦田川の自然環境を守るため、「芦田川を守る日」(6月第1日曜日)に市民と行政が協働のまちづくりの理念のもとに結集し、芦田川をはじめとする市内の主だった川を中心に、周辺学区住民やボランティア団体を核とした市民による一斉清掃を実施し、併せて、市民生活と自然環境のかかわりについて考え合う機会を提供するものです。

環境省が1991年に定めた6月の「環境月間」、とりわけ6月5日の「世界環境デー」にあわせ、1974年に福山明るいまちづくり協議会の前身である福山市民運動推進協議会が6月の第1日曜日を「芦田川を守る日」として設置し、毎年清掃活動を実施しています。(福山市HPより)



当社は、地域貢献活動として、福山明るいまちづくり協議会が主催する「芦田川を守る日」一斉清掃に参加しております。

また2018年7月に発生した西日本豪雨災害など、今後も風水害等による災害の可能性も高まることから、今後も近隣地域へのボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献に努めてまいります。



【全体参加者】
約 12,500人

【ごみの量(全体)】
可燃ごみ 約 4,182 kg
資源ごみ 約 166 kg
不燃(破碎)ごみ 約 386 kg

(2025年6月1日 開催/福山HPより)

社会貢献活動



献血への協力

広島県赤十字血液センター様協力のもと毎年企業献血を行っており、2024年度で24年目となりました。医療業界の下支えとして、また地域・社会がより良くなるお手伝いを企業として実践してまいります。



コンタクトレンズケースのリサイクル

コンタクトレンズケースは各メーカー共通の素材を使用しているため、リサイクルが容易であることが特長です。

なお、CO₂削減だけでなく、売却益は公益財団法人日本アイバンク協会に寄付され、角膜移植とアイバンクの啓発、普及に活用されている「アイシティecoプロジェクト」に賛同し、参加しております。

2024年度は、1,228個の空ケースを寄贈いたしました。



エコキャップ運動の推進

誰でも簡単に参加できる社会貢献活動として、「エコキャップ運動」を推進しております。

収集したキャップにより、リサイクルの促進、CO₂の削減、売却益での発展途上国の医療支援、リサイクルの過程での雇用創出、障がい者・高齢者雇用促進に役立てられます。

2024年度は、11,225個のエコキャップを寄贈し88.396kgのCO₂削減に貢献しました。



社会貢献活動



資源ゴミの回収

ゴミ分別はもちろん、社内に古紙専用の回収エリアを設置して分別回収を行っています。2024年度は約3.2tの古紙をリサイクルし、約1,085kgのCO₂削減に貢献しました。



環境美化活動

従業員による事業所周辺の除草作業等の定期清掃により、地域の環境美化活動に努めております。
年2回、本社従業員が約100名参加し、道路・溝清掃等を実施しております。
また、神辺工業団地内企業16社と協力し工業団地内の道路全般の美化活動も、年3回継続的に行っております。



巻心ECOプロジェクトへの参加

熱帯及び亜熱帯地域の河口汽水域の塩性湿地に生息しているマングローブは、他の植物と比べ二酸化炭素の吸収量が多く、栄養豊かな海をつくることに欠かせない大切な植物です。しかしエビの繁殖地による乱開発、観光開発などにより、減少しているといわれています。
当社では、使い終わったテープの巻心を集め「再資源化」することで廃棄物やCO₂の排出を削減し、その売却益をマングローブの植樹活動に役立てている「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に賛同し、参加しております。
2024年度は、1,832個の巻心を寄贈いたしました。

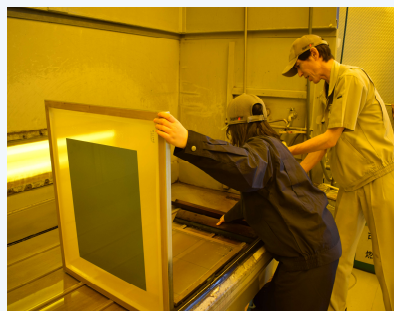


「チャレンジ・ウィークふくやま」の生徒受入れ

「チャレンジ・ウィークふくやま」とは、公立中学校2年生を対象として、生徒にしっかりとした勤労観や職業観を身に付けさせるための「キャリア教育」の一環として、学校・家庭・地域の事業所の三者が協力して“地域で進めるみんなの職場体験活動”です。

当社は、2010年より受入れを行っており、毎年職場体験実習に来られます。
短い期間ではありますが、この経験が今後の生活や大人になっていく過程でプラスとなり、将来のことを考えるきっかけになれば大きな喜びに思います。

- 2024年は、6月24日～26日に神辺中学校より3名、8月27日～29日に神辺東中学校より3名の受入れを行いました。
デバイス事業本部・装置事業本部・インクジェット事業本部それぞれで作業体験をしていただきました。



デバイス事業本部



装置事業本部



インクジェット事業本部



インターンシップの生徒受入れ

インターンシップの作業体験を通し、どんな些細な仕事でも、任された仕事を完了したときには、達成感や責任の重さを感じられたと思います。実際の現場に立ってみることで、社会人として目標をもって働く雰囲気を実感し、学んでいただけたと思っております。

参加した学生にはこの実習での経験を今後の学習や進路に少しでも役立ち、有意義なものとなれば嬉しいです。また、私どもも指導することによって学ぶ点も多くあり、成長することができました。

自分の適正を確認し、将来に対し真剣に向き合うきっかけになることを期待しています。

- 2024年は11月6日、7日に、福山工業高等学校より、デバイス事業本部にて生徒1名のインターンシップ(就業体験)の受入れを致しました。初日は、当社概要、業務内容の説明、各作業の工程毎の作業概略や作業風景を見学していただきました。2日目は、シルク印刷の作業概略や設備の見学、印刷後の加工の作業体験を実施しました。



デバイス事業本部

参加生徒の声

学校生活で学ぶことのできない多くの専門的なことができとても良い体験になりました。

作業体験では、紗張りの作業は多くの工程があり、1つ1つの作業を丁寧に行うことで、より良いものを作っていくことが大切だと学ぶことができました。